

おかげさまで
一年



茨城県議会議員

西条昌良

後援会
会報
創刊号

初心を忘れることなく



茨城県議会議員 西条 昌良

新年あけましておめでとうございます。

一昨年の県議会議員選挙では、大勢の方々の絶大なるご支援を賜り、上位当選させて頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

早いもので、あれから一年有余の歳月が流れました。お蔭様をもちまして県議会議員としての生活にも大分慣れ、毎日元気で活動いたしております。

昨年は自民党に入党、議会においては、四回の定例県議会を経験し、特に九月の定例県議会においては、一般質問の機会を得まして、「鹿島郡地域の諸問題について」の質問をいたしました。また、企画企業委員会の委員として、県内各地の視察調査に参加し、様々な経験や勉強もいたしました。

これからも、私の師と仰ぐ故岩上二郎先生、また岩上妙子先生の教えを基本理念としながら、初心を忘れることなく、鹿島郡、さらには茨城県発展のために、一生懸命、努力・精進して行く所存でございます。

まだまだ未熟者の私ではありますが、今後とも、なお一層のご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

西条さんに期待する —めざましい活躍—



茨城県知事 竹内 藤男

新年おめでとうございます。皆様にはよいお正月をお迎えのことと存じます。

西条昌良さんが県議会議員となられてから一年が過ぎましたが、これまでの活躍にはめざましいものがございます。

さつそく、平成三年第三回定例会議では一般質問に立たれ、鹿島地域の振興や農業・水産業の振興について、意義のある質問を堂々と展開されました。また、高速道路の建設や水資源の確保など県土の発展基盤の整備について審議する企画企業委員会の委員としても、勉強の成果を生かし、大変な活躍をされています。

私は、つくば、鹿島、常陸那珂地区の開発を進め、その効果を県全体に波及させて、茨城県の発展を図ろうと努力しております。このような時にあって、地域開発に詳しい西条さんへの期待は、誠に大きなものがあります。西条さんのなお一層のご活躍と後援会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

ご挨拶いたします。

将来が有望！—



茨城県議会議長 長谷川 大紋

新年あけましておめでとうございます。

平成四年の輝かしい新春を迎えるにあたり、県民の皆様のみならずのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

西条昌良さんには、地元の皆様の絶大な支援のもと、昨年より県議会に席を置かれ、企画企業委員会を中心に活動されております。その活躍ぶりは、目を見張るものがあり、将来が有望視されております。

先の第三回定例会におきましても、鹿島地域の振興のため、交通問題から農業・水産業に関する問題まで幅広い分野にわたり、忌憚のない質問をされ、誠に頼もしく感じました。

どうか皆様方の絶大なるご支援を賜り、鹿島郡をはじめ、二十一世紀における日本のリーディング県へ向け大きく



く飛躍しつつある本県のますますの発展のため、西条昌良さんの活躍を期待しております。

—誰にも負けない郷土愛—



波崎町議会議長 安藤 武博

輝かしい新春を迎え、皆様方のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

この新しい年の初めに、後援会々報の第一号が発行されますことに、心よりお慶びを申し上げます。

一昨年暮れの茨城県議会議員選挙におきまして、皆様方の大きなお力添えを頂き、初陣の西条昌良君が見事トップ当選の栄冠を勝ち得ましたことは、いまだに記憶に新しいものがございます。以来、西条昌良君は県議会議員として選挙公約の実行を果たすべく、誰にも負けない強い郷土愛と、ほとばしるほどの政治に対する情熱を持って、実に精力的に、地元鹿島郡はもとより、茨城県の発展と、県民の皆様方より豊かな生活の実現のために頑張っております。

昨年十月には県議会壇上におきまして、とても新人議員とは思えないほどに、堂々と立派に一般質問を行い、地元波崎の町はもとより、鹿島の発展についての確かな手ごたえを、県執行部より引き出しました。それを傍聴していた多くの方々が、異口同音に西条君の雄姿をたたえ、拍手喝采のエールを

送ったことも、また嬉しいことでありました。

西条君には、この度の後援会々報の発行を期に、初心を忘れず、若い力を余すところなく発揮し、より一層活躍されることをご期待申し上げます。終りに、西条昌良後援会の益々のご発展と、会員各位のご多幸をお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせて頂きます。

— 若さと実力力 —



西条昌良後援会会長
須之内 博

皆さま、新年あけましておめでとうございます。一昨年、そして昨年と引き続き続いて後援会の皆さまには大変お世話になりました。

おかげ様で、西条県議が誕生し、一年余を過ぎましたが、この間、西条県議は、私どもの期待に十分応えて、郷土の発展のために大活躍されており、すことはご案内のとおりであります。

西条県議は、これからも、若さと実行力を駆使し、県政の場で活躍されるものと信じております。私ども後援会は、更に一致団結し、西条県議の強力な後援となることを誓うものであります。

本年もまた良い年でありますよう、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

— 弱い人の立場に立つて

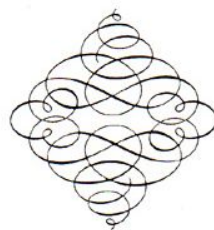
愛の岩上哲学を实践

西条昌良県議がめざす政治の理想は、農工商全の道を開き、鹿島開発に心血を注いだ故岩上二郎先生、妙子先生の「愛の哲学」から秘書として仕え、今も人生の師と仰ぐ岩上先生の「温かい心と弱い立場の人たちへの思いやり」を持ち、その立場に立つておこなつてこそ真の政治の教えは、いつも西条県議の心底にある。



一昨年の県議選で応援に駆けつけた岩上妙子先生と並んで。

昨年8月29日～9月1日、自民党茨城県連青年局で韓国を親善視察



— フィリピンの子供達に愛の手

自民党茨城県連青年局が救援物資

自民党茨城県連青年局長として活躍する西条県議は、「ピナツボ山の大噴火や台風による被害で苦しむ子どもたちの姿をわが子と置き換えてみると、何もしないではいけない」と、田中克也局長らと、東京・南平台町のフィリピン大使館を訪ね、フィリピンの子どもたちへ救援物資を贈りました。西条県議ら青年局役員の呼びかけで医薬品、幼児・子供用の衣類、学用品などダンボール箱20数個の善意が寄せられました。



自民党茨城県連青年局の田中克也局長(左から2番目)らとフィリピン大使館へ救援物資を贈る西条県議

自民党茨城県連青年局で水戸遊説



個性を生かす心の教育



防災訓練

スケールの大きな港湾計画を

鹿島港の
再構築

「豊かな自然と海を活かそう！」

茨城県議会でも、堂々の初質問

平成三年第三回定例会が平成三年九月二十四日から十月十一日にかけて開かれ、西条昌良県議は、後援会の皆様の温かい声援を受けて、十月一日、一般質問に初登壇。

「鹿島地域の振興」「道路問題」「鹿島南部地域の農業振興」「水産業の振興」など地元鹿島郡の諸問題を中心に、堂々たる態度で県執行部の考えをたどりました。



堂々たる態度で県議会初質問を行った西条県議



波崎のリゾート開発や鹿島港の再構築を訴える西条県議

入れた「波崎町のリゾート開発」についても、「地元波崎町と協議しながら、具体的に努めてまいりたい」と前向きな答えをいただきました。

一般質問の要旨

◆ 鹿島地域の振興について

(1) 波崎町におけるリゾート開発

(2) 道路体系の整備

(3) 鹿島臨海鉄道の延伸等

(4) 鹿島港湾計画の再構築

◆ 道路問題について

(1) 交差点の改良

(2) 鹿行大橋、新神宮橋などの整備

(3) 街路樹の整備

◆ 鹿島南部地域の農業振興について

(3) 街路樹の整備

◆ 水産業の振興について

(1) つくり育てる漁業の振興

(2) 水産加工の振興

豊かな自然環境・海を生かした波崎町のリゾート開発

▼西条昌良県議 鹿島町では、文化やスポーツを軸とした地域の整備、神栖町は、都市的なサービスの核となる施設の整備、波崎町は豊かな自然環境を生かし、海を活用したウォータースポーツ開発など鹿島三町が、それぞれ機能分担することにより、魅力ある楽しいまちづくりができる。特に波崎町のリゾート開発について、県としてどのように考えているのか。

▼河崎広二企画部長 波崎町は、砂丘海岸や松林など、自然豊かな特色ある景観に恵まれており、波崎漁港から松十町歩にいたる海岸地域は、ウォータースポーツ基地としての可能性の高い地域である。今後、諸課題の解決策、具体的な整備内容について地元波崎町とも協議しながら、具体的に努めてまいりたいと存じます。

東京湾との関係・マリナーズリゾートにも配慮—長期的視点に立った港湾計画

▼西条県議 鹿島港の計画見直しに当たっては、鹿島地区の立地条件ばかりでなく、東京湾との関係やマリナーズリゾートなどにも配慮し、長期的な視点に立ち、スケールの大きな港湾計画を再構築すべきではないか。

▼都丸徳治土木部長 東京湾の過密化に伴い、鹿島港をとり巻く経済社会環境が大きく変化してきており、昭和五十四年に策定された

現在の港湾計画を見直し、平成十七年を目標準次とする新しい港湾計画を平成三年度内に策定すべく作業を進めております。

新しい計画策定に当たっては、従来の機能に加え、首都圏貨物の一部分担の流通機能やマリナーを核とした海洋性レクリエーション施設など、地域に親しまれ、リゾートの拠点となる機能をも考えている。「物流」「生産」「生活」の三つの機能をあわせ持った複合港湾への脱皮をめざします。

鹿島地区の総合的な交通基盤の整備を

▼西条県議 将来の発生交通量に備え、道路、鉄道、港湾などの総合的な交通基盤の整備に着手すべきである。利根川、常陸利根川の架橋を含めた新しい路線の設定、港湾整備と相まったベイ・ブリッジ建設などに具体的に取り組みなければならぬと考えるが、土木部長の見解を承りたい。

▼都丸土木部長 鹿島港の整備をさらに進めるほか、生活、文化、経済活動を支える基本的施設である道路網、すなわち国道五十一号の鹿島バイパスや国道一二四号鹿島・神栖バイパス、鹿行大橋、行方縦貫道路などの整備を進めてまいりたいと存じております。

鹿島臨海鉄道を波崎・銚子へ延伸

▼西条県議 鹿島臨海鉄道についても、将来の工業製品輸送に果たす軌道交通の役割を再評価するとともに、環境問題をふまえ、波崎

工業団地、土合の住宅団地を経て波崎・銚子を結ぶ路線の延長を検討すべきである。

▼河崎企画部長 今後、鹿島臨海工業地帯の整備をさらに進め、工業の集積を高めるとともに、人口の定着が図られるような住宅用地の整備なども積極的に推進していく中で、長期的な視点に立つて研究をしていくべきと考えております。

大野原、宝山交差点の立体化

▼西条県議 交差点の改良に当たっては、当面の局部改良と用地買収を含めての抜本的な改良との二つに区分したプロジェクトをつくり、優先的に実施していただきたい。具体的な箇所では、鹿島町大船津の交差点、鹿島町明石の交差点が緊急を要する。

抜本的な改良だが、交差点の交通容量を増やすためには、信号表示に関係なく左折できるような車線を増やしたり、右折の待機車線を整備すること。加えて、鹿島町の大船津、神栖町の大野原、波崎町の宝山など交通量が極めて多くなると取り組むべきである。

▼都丸土木部長 主要な道路の交差点などで、特に交通渋滞の著しい箇所を改善するため、茨城県渋滞対策推進計画を策定した。大船津交差点については、右折レーンを設置などの事業を行っており、今年度中に完成する予定。明石交差点についても建設省が調査を進めており、早期着手を要望しております。



後援会の皆様の温かい声援

鹿行大橋、新神宮橋の整備

▼西条県議 主要地方道土浦大洋線は、幹線道路であり、重要な通勤路線でもある。しかし、北浦にかかる鹿行大橋は、道幅が極めて狭く、今日の交通事情に即応していない。新橋建設に踏み切る段階にきているのではないかと。

北浦大橋の建設が進められているが、国道五一号の神宮橋についても、潮来町のバイパスを含め、橋の建設に着手すべきと考えるがいかがだろうか。

▼都丸土木部長 鹿行大橋については、本年度より、道路部について用地取得を開始する予定であり、

橋本体の架けかえも、実施のための細部測量を進め、平成五年度に着手できるよう努力してまいります。

北浦大橋は、平成六年度内の完成を目処に、事業推進を図っている。潮来バイパスも、鹿島バイパスの進捗状況を見ながら国に要望してまいりたいと存じます。

街路樹の整備、潤いのあるマチづくり

▼西条県議 鹿島地区の幹線道路とりわけ国道一二四号には、ほとんど街路樹が見当たらず、鹿島臨海工業地帯が、「緑の少ない潤いのないマチ」という印象を与える一因となっている。街路樹は、環境問題からも大切な緑の資源であり、潤いのあるマチづくりの寄与すべきであると考えております。

▼都丸土木部長 国道一二四号の街路樹植栽は、臨海工業地帯という地域の特長性や、より一層緑の多い潤いのあるマチづくりのためにも、ぜひ必要であると考えております。

鹿島南部地域の農業振興

▼西条県議 農業施策の展開は、実態を的確にとらえ、きめ細かな行政指導、行政支援を積極的に実施すべきである。鹿島特産指導所の試験研究を充実させ、温暖改良普及所との連携を密にし、温暖で平坦な立地条件を十二分に活かした生産性の高い野菜・花卉類の園芸特産地づくりに積極的に取り組むべきである。今後拡大振興でき

る作物・作型の特定や新しい栽培技術、経営手法を確立し個々の農家に普及願いたい。

▼斎藤一朗農林水産部長 需要の伸びが見込まれる花卉についての試験や、この地域に合った施設の高度化技術の開発に取り組み、砂地の持つクリーンなイメージを生かした観光農業についても検討しながら、鹿島南部地域の一層の農業の振興に努めてまいり所存であります。

つくり育てる漁業水産物の振興

▼西条県議 漁業資源は確実に減少傾向にあり、「つくり育てる漁業」への転換が焦眉の課題。「漁場の開発・整備」「つくり育てる漁業の振興」「水産物の加工・流通の改善」の三つを一体としてとらえ対処することを強く望む。大型の魚礁を数多く設置し漁獲量の安定確保につとめ、栽培漁業センターの規模を拡大し、放流する魚貝類の習性を明らかにし、効率のよい「つくり育てる漁業」への確立を図るべきである。

▼斎藤農林水産部長 昭和六十三年度から第三次沿岸漁場整備開発計画を定め、全体計画二十三億円の仕事費で、人工魚礁による漁場造成等を実施している。鹿島灘北部一五万立方メートルの魚礁設置など漁場の造成を図っている。栽培漁業についても新しい栽培魚種の開発や、量産が確立されていない魚介類の技術開発につとめてまいりたいと存じます。

原料の安定確保水産加工業の振興

▼西条県議 これまでのイワシ、イカナゴなどの加工では、資源減少から限界がある。他地区からの原料の移入、外国からの輸入など加工原料の安定確保に努めるとともに、消費者ニーズの多様化に向けた新製品の開発など、加工技術の向上を図り、水産加工業の振興に努めるべきである。

▼斎藤農林水産部長 加工原料の安定確保を図るため、構造改善対策資金や振興資金等水産加工金融の一層の充実を図るとともに、製品の鮮度保持、品質改良などの研究に加え、食生活の洋風化や外食の普及等に対応したレトルト食品、チルド食品等付加価値の高い新製品の開発を促進し、水産加工業の経営の安定化に努めてまいりたいと存じます。



なお、鹿島町では、プロサッカースタジアムの建設着工、神栖町では、鹿島セントラルビル周辺地域の都市機能整備計画の調査実施などについての質問に対し、県当局の前向きな答弁がありました。詳細については、紙面の都合で一部割愛させていただきます。ご了承を願います。

茨城県議会議員

西条昌良 活動報告



一昨年12月、茨城県議会議員選挙で、
2万662票を獲得してトップ当選！



1月、待望の初登庁



4月、自民党茨城県連青年局長として、
クルド人難民救援募金活動を行う

—あ と が き—

皆様のご支援で、西条昌良県議を県政の場へと送っていただき、ここに、後援会々報が創刊の運びとなりました。

県政、そして鹿島郡の発展のため全力投球する西条県議に対し、今後とも皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただき、幅広いご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

若さでアタック

あふれる情熱



ヨインヨ、ヨインショとハッスルする綱引き大会



県議一期生で、勿来発電所など、
県外視察



県議会の野球クラブに入会



9月、波崎町柳川地区の区長、
県職員と台風による増水地域の
状況視察



6月、利根川新橋早期建設促進の陳情